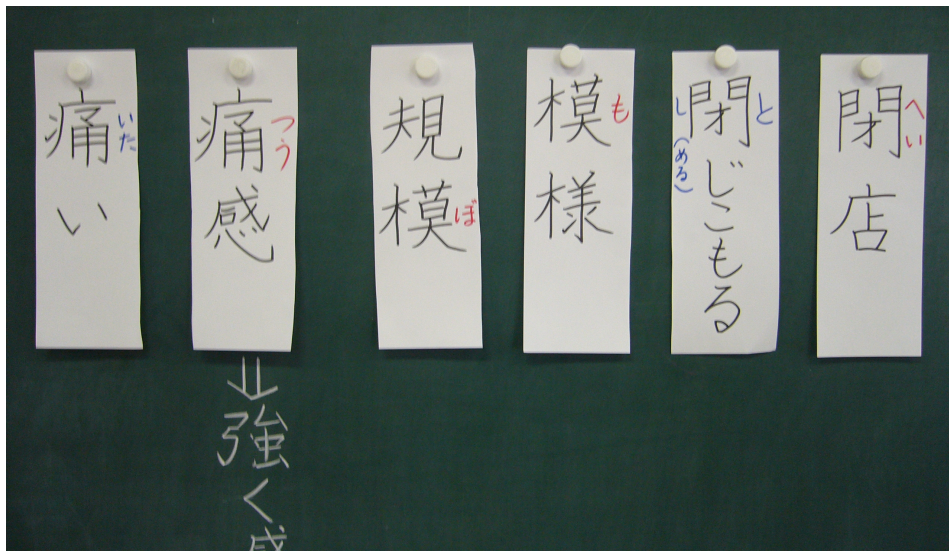


1 単元導入時の新出漢字の指導について（5・6年）

【板書事項】



【指導の流れ】

- 1 カード（画用紙を切ったもの）を黒板に磁石ではって、担任が筆順を説明しながら、新出漢字（本文で使われている熟語の形で）を黒ペンで書く。音読みと訓読みがある漢字は、音読みの熟語から書くようにする。その右側に音読みの振り仮名を赤で書く。難しい書き順の場合は、空書きで何回か確認する。
- 2 その後、訓読みのある漢字の場合は、別なカードに単語を書いて、青で振り仮名を書く。
- 2 漢字練習帳に筆順に気を付けながら熟語を書かせる。その他の情報についてもメモを取らせる。
- 3 教科書巻末の「新しく習った漢字」のページに掲載されている熟語を全体で音読み、難しい言葉の場合は、各自国語辞典で調べ、メモを取らせる。

【留意点】

- 1 新出漢字の筆順だけでなく、あわせて、「へんやつくりの構成」、「漢字の由来」「覚えるときの注意点」など、ほかの大切な指導事項についても、児童の考えを発表させて、みんなで漢字カードを作っていくという意識をもたせるようにする。
- この漢字カードは、授業の後に教室の壁面に掲示し、常に目に触れさせるようにする。漢字テストのときは、机の向きを工夫するなどして児童の目に触れないようにさせて、終了後の答え合わせのときに、漢字カードを活用することができ
- 2 「へんやつくり」「覚えるときの注意点」などについてポイントをメモしたら、自主勉強などで、もう一度まとめるようにする。何度も書くことで、着実に覚えるようにさせる。